

### 「天皇在位六十年」祝賀行事に 反対する申し入れ

中曽根内閣は四月二十九日の天皇誕生日に、天皇在位六十年祝賀  
式典を行うのをはじめとする一連の祝賀行事を実施することを決定  
し、準備をすすめている。

京都では、一月三十日に「天皇陛下御在位六十年京都奉祝委員会」  
(会長・奥田東元京大総長)なる組織が結成され、①京都府をはじめ  
地方自治体の主催する奉祝式典の開催を求める、②府内すべての  
自治体に奉祝委員会を結成し、記念事業・行事を行う、③十一月十  
日に京都市内で奉祝式典を、前日十一月九日に十万人奉祝パレード  
を行う、などを決めている。

わが議員団は「天皇在位六十年」祝賀行事については次の理由に  
よって反対である。

- 一、かつて現天皇を最高責任者として遂行された侵略戦争や、主権  
在野の暗黒政治を肯定するものである。
- 二、侵略戦争と暗黒政治の反省にたつて主権在野を確立した今日の  
憲法の、民主的平和条項への真っ向からの挑戦である。
- 三、参議院選挙を自民党に有利にほごぶための党利党略の天皇利用  
であるとともに、中曽根首相がすすめる「戦後政治の総決算」略  
線の総仕上げとしての憲法改悪、天皇の元首化を推進するための  
政治的キャンペーンである。
- 四、この間に京都では、全国に先んじて盛大に奉祝することによって  
大嘗祭(だいじょうさい)の御大典を京都で行う機運を高め、天  
皇を利用して京都を反動の拠点にすることを狙うものである。

わが議員団は、知事と京都府が天皇在位六十年祝賀に関する行事  
やキャンペーンに、参画や支援を一切行わないよう強く求め、申し  
入れるものである。

一九八六年四月十七日

日本共産党・革新共同京都府議会議員団  
団長 西山秀尚  
京都府知事 荒巻禎一殿

国鉄が四月七日、運輸省に対し宮津線の廃止申請を行ったのに抗議し、国鉄の分割・民営化に反対  
する京都府民の会は、知事に対し左記の要請をおこないました。共産党・革新共同議員団の岩田隆夫・  
高橋昭三議員も同席しました。

### 国鉄の分割・民営化に反対し、府北部交通の動脈 「国鉄宮津線」の廃止に反対し守ることを求める要請書

一九八六年四月十九日

京都府知事 荒巻禎一殿

中曽根自民党内閣は、すでに国会に国鉄の分  
割・民営化関連法案を上程し国民多数の意志を無視  
し、強硬採決をはかろうとしています。こうした中  
で知事選でも重要な争点の一つとなった「国鉄宮津  
線」が全国十二の第三次地方交通線の一つとして去  
る四月七日、運輸省にたいし廃止の申請が行われた  
ことは御承知の通りであります。

これは、我々「京都府民の会」をはじめ宮津線を  
残してほしいと願ってきた北部住民はもとより、府  
民の多くの願いを踏みにじるものであり絶対に許せ  
ない暴挙であります。今日まで、京都府は「宮津線  
の存続を希望する」とか、府下自治体の一部もふく  
めて「乗車運動」によって宮津線が残されるかのよ  
うな方針をとってまいりました。しかし、こうした  
態度・方針ではもはや「宮津線は守れない」という  
政策的破綻が明白となったのであります。

赤字を理由とした国鉄の解体、分割・民営化は國  
民と国鉄労働者にその責任を転嫁しようとするもの  
であり、地方ローカル線の廃止もまた、同様であり  
二重の反国民的行為であります。累積債務や年金負  
担、ローカル線赤字等への国庫助成の強化など、今  
日の大きな赤字を生み出した自民党政府財界の責任

### 国鉄の分割・民営化に反対する京都府民の会

を明確にして、「国鉄」を公共輸送機関として国民  
本位の経営改善をはかることによって国鉄の再建は  
可能です。

私達は、この際、貴方がこつした立場を明確にし  
て「国鉄の真の再建」と「宮津線廃止反対」の断固  
たる態度をとられると共に、政府・運輸省並びに國  
鉄当局に対し、その意志を率直に示され「宮津線守  
れ」の府民の要求にこたえられるよう強く要請いた  
します。

#### 記

- 一、国民の共有財産である国鉄を守るため、国鉄の  
分割・民営化の意志を表明し、政府及び運輸省に  
対し必要な要請を行うこと。
- 一、宮津線廃止反対の意志を明確にし、運輸大臣の  
諮問にたいし、きっぱりと「反対」の態度を伝え  
宮津線を守ることを。
- 一、「乗って残そう」と云う従来の不十分な方針を  
改め宮津線廃止反対の一大府民運動の先頭に府が  
立ち、政府関係機関に強力に働きかけ存続のため  
必要な行動をとること。